

サミットアカデミーエレメンタリースクール長野
2025年度 学校評価
＜学校関係者評価＞

1 学ぶ意欲・主体性

児童の実態や興味・関心に応じた授業づくりや体験的な活動の工夫により、学習への意欲や「書く力」の向上が見られる点は評価できる。今後は、児童同士の対話や協働的な学びをさらに充実させ、すべての児童が主体的に学習に取り組める授業づくりが進められることを期待したい。

2 思考力・表現力等

対話やグループ活動を取り入れた授業づくりを通して、児童の表現力やコミュニケーション能力の向上が図られている点は評価できる。また、安心して意見を出せる雰囲気づくりや、問いかけを工夫した指導は、問題発見力や課題解決力の育成につながる取組であると考えられる。今後は、振り返りや評価の工夫を充実させるとともに、言語面で支援が必要な児童への配慮を行いながら、すべての児童が主体的に考え、表現できる授業づくりのさらなる充実を期待したい。

3 英語4技能

英語の4技能（聞く・話す・読む・書く）の習得を意識した授業づくりに取り組み、会話活動や歌唱、動画の活用などを通して、児童が英語に興味をもち積極的に参加する姿が見られる点は評価できる。また、インターナショナルティーチャーによる指導を通して、実践的に英語を使用する機会を設けている点も有意義である。今後は、児童一人ひとりの理解度に応じた指導や、読む・書く活動の充実を図るとともに、4技能をより計画的に育成する授業づくりを進め、英語力のさらなる向上につながることを期待したい。

4 人間関係・学級経営

学級目標の共有や「ほめほめタイム」などの取組を通して、児童同士が互いを認め合い、思いやりをもって関わろうとする姿が見られる点は評価できる。また、トラブルへの丁寧な対応や教職員間での情報共有など、組織的な生徒指導が行われていることも重要な取組である。今後は、すべての児童が安心して自分の思いを表現できる学級づくりをさらに進めるとともに、互いを尊重し合う関係が継続的に定着するような指導の充実を期待したい。

5 いじめ・SNS等

日常的な声かけや学級活動を通して、友だちとの関わり方や問題解決の方法について継続的に指導し、いじめや暴力を許さない学級づくりに努めている点は評価できる。また、トラブル発生時に迅速に情報収集を行い、教職員が連携して対応していることも重

要な取組である。今後は、いじめや SNS トラブルの未然防止に向けた啓発活動をより計画的に進めるとともに、学校全体で共通理解を図りながら、安全で安心して学べる環境づくりのさらなる充実を期待したい。

6 体罰・人権

児童一人ひとりの人格を尊重し、「大人にしないことは子どもにもしない」という観点を大切にされた指導を行っている点は評価できる。日常の指導において言葉遣いや関わり方に配慮し、安心して学べる環境づくりに努めていることも重要である。今後は、教職員間での共通理解をさらに深め、人権意識に基づいた指導を継続するとともに、すべての児童が安心して学校生活を送ることができる環境づくりの充実を期待したい。

7 安全・防災

避難訓練や交通安全教室の実施、日常的な見守り体制の整備、教職員の AED 講習などを通して、安全で安心な学校づくりに取り組んでいる点は評価できる。また、設備点検や巡視など、日常的な安全管理が継続して行われていることも重要である。今後は、災害時や緊急時の対応について教職員間での役割分担や手順の共通理解をさらに深め、組織的な安全管理体制の充実を図るとともに、児童自身の安全意識を高める取組の継続を期待したい。

8 保護者・外部対応

保護者からの相談や意見に対して、連絡帳や日常的なやり取りを通して丁寧に対応し、担任や関係職員と情報共有を図りながら誠実に対応している点は評価できる。今後は、放課後ラボを含めた学校内外の連携をより明確にし、保護者への情報共有や説明の充実を図ることで、安心して相談できる体制のさらなる整備を期待したい。

9 地域理解・地域連携

地域の公園や神社への訪問、町探検、リンゴ狩りや地域の食文化に関わる体験活動などを通して、児童が地域の自然や文化に触れながら学ぶ機会を設けている点は評価できる。また、外部講師や保護者の協力を得た活動により、地域とのつながりを広げていることも意義ある取組である。今後は、地域の人材や団体との連携をさらに深め、児童が主体的に地域に目を向け、地域への理解や関心をより一層高める学習の充実を期待したい。

10 情報発信

Google のポータルサイトや学校通信などを活用し、学校や学年の様子を継続的に発信している点は評価できる。また、学校ガイドやホームページの更新など、生徒募集に向けた情報発信にも積極的に取り組んでいることは意義がある。今後は、複数の情報発信媒体の役割を整理し、保護者や地域が必要な情報をより分かりやすく受け取れるよう工夫するとともに、地域に向けた情報発信の充実にも期待したい。

■総評

授業づくりや児童理解、生活指導、安全管理、保護者対応、地域との連携など、学校教育活動全般において、児童一人ひとりを大切に丁寧な取組が行われていることがうかがえる。特に、対話を重視した授業づくりや体験的な学習、地域と連携した活動、ICTを活用した情報発信など、学校の特色を生かした教育活動が着実に進められている点は評価できる。

一方で、授業改善のさらなる深化、児童の主体的な学びの広がり、いじめや SNS トラブルの未然防止、安全管理体制の強化、保護者・地域との情報共有の在り方など、今後の課題も整理されている。これらについては、教職員間での共通理解と組織的な取組を一層進めることで、改善につながることを期待される。

今後も、児童が安心して学び、互いを尊重しながら主体的に成長できる学校づくりを進めるとともに、保護者や地域と連携した教育活動の充実を図り、学校全体の教育力の向上につなげていくことを期待したい。